

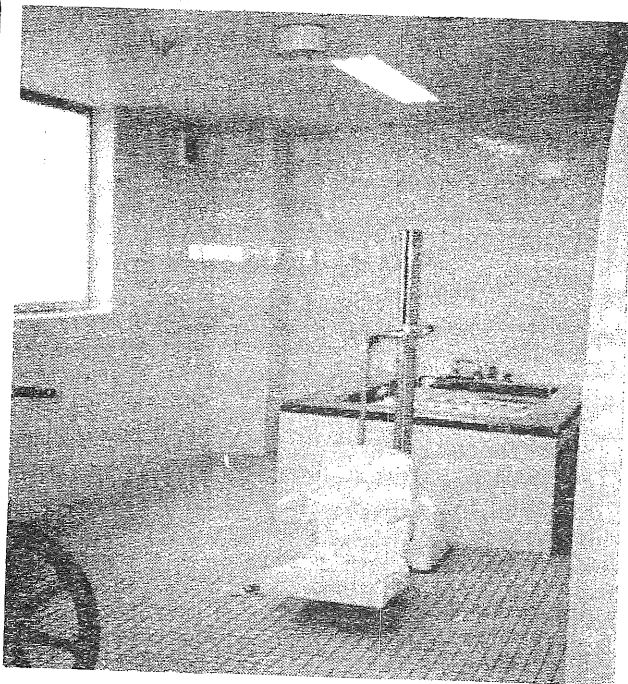
向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。



社会福祉法人イエス回
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平田 義
編集 惠 大一郎

今年度をふりかえって・・・

愛隣デイサービスセンター 所長：平田 義



《噂の入浴設備・中間浴》

当センターの三階テラスにある花壇のチューリップのつぼみも脹らんできて、春の訪れを感じるようになり、一九九六年度も残すところあと僅かとなりました。昨年の四月よりデイサービス事業に入浴サービスが加わり、様々な新しい出会いがあった年でした。

見区内の「障害」者の方々とつて福音の訪れでありました。長い間、シャワーや清拭だけで済まされていた方々が、何年かぶりに湯槽につかることができたこと喜ばれております。

入浴サービスが始まり、出会った「障害」者の方々の中には、家の構造上や介護者など外出の機会にも恵まれず、入浴の時に外出できるのを心待ちにしていただいていた方も、また、養護学校卒業後、進路が定まらず否応無しに、在宅を余儀なくされていた「障害」者の方も、デイケア事業という新しい枠の中で出会

う機会が与えられました。子どものセンターにとつては、このような貴重な出会いによって、様々なことを考えさせられていきます。

一つには、当たり前のことには様々な「障害」をもって生活をされている方々があり、それぞれに、生活の形態(家族、介護、住宅、収入等)が違っていて、それぞれの福祉のニーズも違っています。しかし、今の公的な福祉制度の中だけでは、一人一人に見合った十分な対応ができていないのが現状です。

また、「障害」者が地域で生きていく上で必要不可欠な「障害」者を主体とした人間関係の構築が十分になされていません。これは、その主体となるべき「障害」者自身が、自らの「障害」(できないという個性)を受容しきれないという地域の間が、彼らの「障害」を一つの「個性」として受け入れた上での人間関係を作り上げていくことができていないところが、一つの要因になっているのではないかと考えます。

私どものセンターでも、様々な「障害」者との出会いから考えさせられることに真摯に向き合い、地域の中でそれぞれが豊かに、生き生きと暮らしていけるように、微力ながら、今後とも歩んでいきたいと願っております。

今後とも、より一層のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

京都・グリーンレオクラブ

バザー 2月16日

二月一六日(日)、真冬の寒さも何のその、京都グリーンレオクラブの方々主催で当研修センターにて「バザー」が開催されました。二階ホールにて物品バザー。奥の部屋では綿菓子や「あてもの」といった子ども向けのコーナーが設けられました。開館と同時に大勢の人々が訪れてくださり、大にぎわい。とくに物品バザーの方は掘り出し物が目白押しとあってアツという間に、それこそ飛ぶように売れていきました。我々デイサービス職員も、前日準備されていたときから「かわいいなあ」と目を付けていたものもあつたのですが、ちよつと用事をしていて、あとから物品バザーの会場に駆け付けたものの時既におそし。お目当ての品

高齢者の方々とともに
「おもちゃつき」大会

去る三月六日(日)、愛隣館野の百合幼児園園庭にて、恒例となりました高齢者の方々と園児たちとの楽しい交流・おもちゃつき大会が開催されました。当日は汗ばむほどの絶好のおちつき日和に恵まれ、各老人クラブ等から参加された方々が、園児たちと一緒におもちゃつきに汗を流し、そのついでにおもちゃを丁寧にこねてくだ

さいました。その後、園児等との心暖まる交流会で、そのおもちゃをおいしくいただき、楽しいひとときを過ごされたようです。次年度もより多くの方々に参加していただいで、地域の中での楽しい交流のときが持てれば幸いです。皆様、どうもありがとうございました。

は売り切れ。地団駄踏んで悔しがつても後の祭りといつた有様でした。そんなこんなであつた間に時間は過ぎ、デイサービス利用者・職員とグリーンレオクラブのボランティアの方々との記念撮影をし、今後も交流を続けていくことを約束しました。それぞれ家路につかれました。とても楽しいひとときを過ごすことができ、このバザーに改めて感謝の意を表明させていただきます。みなさま、どうもありがとうございました。

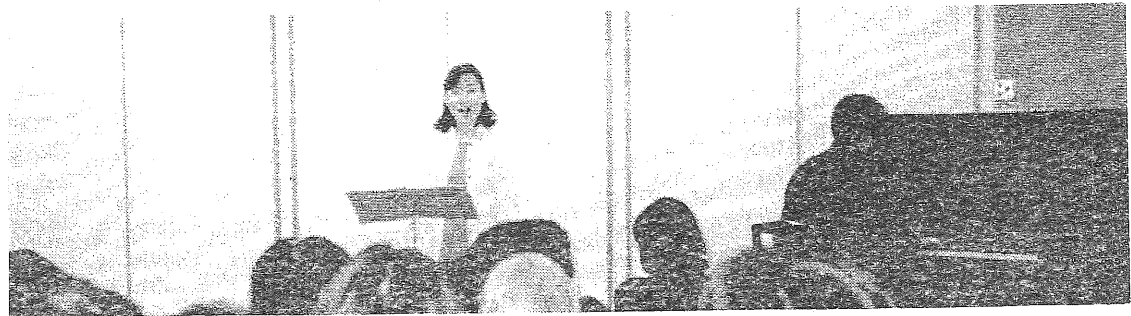
なお、このバザーの収益・二五〇、六九五円を、当研修センターへの寄付金として感謝を以て領収させていただきます。

3・8 ピアノコンサート

～うたとピアノと春よこい～

絶対の小春日和に恵まれた三月八日(日)久保智さん(ピアノ)、岡村聖枝さん(うた)

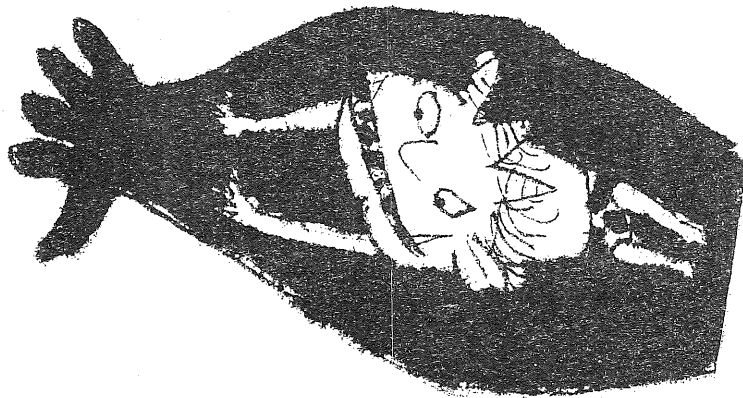
によるコンサート、題して「うたとピアノと春よこい」が、当研修センターにてにぎやかに開催されました。久保さんは、全盲というハンディを持ちながら四歳よりピアノを始め武蔵野音楽大学ピアノ科を卒業され、現在埼玉県に住まれ、幅広く音楽活動を続けられています。岡村さんは、今春武蔵野音楽大学声楽科を卒業されたフレッシュなウーマン。今後の活躍が期待されています。当日は、約一〇〇名の方々が集つてくださり、大にぎわい。ピアノのコンサートというとかく静かにせねばという感じの堅苦しいものが多いと思いますが、今回は、久保さんのユーモアあふれるトークもあり、また曲目も「エリゼのために」や「赤とんぼ」といった童謡等、ききなみのある曲が中心で、とても親しみやすく予定の一時半があつという間に過ぎてしまつたという感じでした。当デイサービスの利用者で参加された方の中からも、「よかつた！感動した」という声が聞かれ、中には感涙にむせぶ方の姿も見受けられました。また、今後もどしどしこういった企画をしていきたいなと思えます。久保さん、岡村さんはじめ、当日集つてくださった皆様、又、様々な形でご協力いただいた方々にこの場を借りまして改めてお礼申し上げます。皆様、どうもありがとうございました。



創作童話

骨食い太郎とチョロマツ

連載 第 4 回
松 下 かつとし



「あしを使う仕事もだめなら、目を使ってできる仕事をしよう」
チョロマツは焼き物屋につめて、ちやわんやとつくりひびが入ってないかどうか調べる仕事をします。

すると骨食い太郎は、どこからか弟の骨食い次郎をつれてきました。
骨食い次郎は、チョロマツの首の骨にしゃぶりついて、兄弟でじゃまをします。

「仕事ができなくても、

ひとりぐらしのお年寄りの話し相手にはなつてあげられる」
チョロマツは、体は傷だらけになつても、心はますます元気です。

すると、骨食い兄弟は、耳にいたずらをして、人の話もきけないようにします。

「どうだ。オレたちのおそろしさがわかつたか」
チョロマツは、笑つていました。

「おまえたち、いつまでわるさをしているつもりなんだ。お互い、もつと有意義な人生をおくろうじやないか」
骨食い次郎は、

「こんなヤロウは見たことない。アニキには気の毒だが、おいらはよそへいかせてもらうぜ」と、逃げていきました。

骨食い太郎は、こんどは次の弟、骨食い三郎をつれてきました。
「おいらは右腕が気に入つた。アニキのようなやわなやり方は、イライラして見ていられないぜ。」
チョロマツ、見てるよ

おいらのすごさを。いまにアニキのもとへ助っ人するぜ」
さすがに三郎は乱暴者で、手がつけられませんでした。みるみるうちに三郎にかじられて、右手がはれあがりまし

た。
お医者さまがいました。「右腕ごと切断しないとこのちがぶないよ」
チョロマツは悩み、迷いました。

しかしそのとき、チョロマツのいのちの聲が聞こえました。「三郎と心中するわけにはいかない。オレはまだ、生きたいんだ」

そのときをさかいに、おはしを持つ手がなくなつてしまいました。

次号へつづく……

カレンダー

◇年度末休館日◇ 三月二
九日出、三月三十一日(伊)。職
員の研修プログラムを予定。

◇デイサービス・お花見◇
四月八日(火)。行先―膳所城址
公園。恒例行事となつてきま
したデイサービスの「お花見
ですが、今年もにぎやかにと
思っています。

編集後記 井

年度代わりの慌ただしさの中、皆様元気に過ごされていくことと思います。
研修センターでは、五月に始まった入浴サービスの方も着々と利用が増え始め、改めてこの業の必要性を再認識させられています。
今後は、養護学校を卒業した人たちの進路保障のことやデイサービス以外の福祉ニーズのことについて等、新しいことにも取り組んでいきたいと考えています。
これからも皆様に見守られ地道に歩んでいくことができればと思つています。どうぞ未長くよろしくお願い申し上げます。

それでは次号まで……

センターの活動を支えていただき

どうもありがとうございました。

主の御名を賛美いたしま
す。一九九六年度の愛隣館研
修センターの賛助会会員を
ご紹介させて頂きます。合
計二七六口で、献金総額は
七、九〇二、三〇四円でし
た。感謝を以て領収させて
頂きました。ありがとうございます
でした。
会員の皆様方のお名前を
記させて頂き、感謝の印と
代えさせて頂きます。
尚、三月五日現在での記
録ですので、その前後にご
献金頂いた方で、お名前を
記載することができなかつ
た方もおられるかと思いま
す。その節は、悪しからず
ご容赦ください。
次年度も又、どうぞよろ
しくお願いいたします。

1996年度

賛助会・会員の皆様

三月五日現在、順不同、敬称略子・大谷淑子・小栗栖明久・

《月定会員》

- 恵七口子・渡辺文子・中井
宏幸・島崎富子・島崎蔵子・
松村有希子・松村新子・斎藤
友和・伊藤明・藤田恭子・上
田圭子・恵丈一郎・玉井勝也
引原勝美・田中春枝・谷口あ
さ子・君村千代子・内藤仙太
郎・弘子・近藤政一・松井知
恵・木村春江・作野叡子・金
子町子・信濃すゑを・森弘・
雄子・江藤淑子・福田富代子
前川直美・斎恵子・広瀬悦子
木村淳子・岩尾真理・藤井千
賀子・荒木拓美・石山愛子・栗
下岡一夫・愛子・林栄子・栗
林千代栄・安野優美・白川健
児・小池敬子・坂田幸作・金
山美由紀・松本智美・田畑貴
子・長井希久子・峠田有佳利
村上領子・高垣縁・津川和子
上橋和也・澤村二美・塩谷幸
代・宇都知加子・井上さみ子
武本優美・木村耕・長瀬雅子
永谷尚子・高下恭子・藤多妙
子・中村澄江・松野正信・清
美・松井望・富士岡聖夏・三
谷昭子
(六六口)
- 《指定献金(増改築、クリス
マス、年会費)》
一、〇五七、二〇〇)
- 江藤淑子(二口)・有本由
美子・榎本久美江(二口)・
今井晋・大津健一・石山愛子
後宮俊夫・松代・大野美代・
伊藤美恵子(二口)・岡崎岳
後宮忠正・岩見祥司・家西悟
榎本空・今福義明・李清美・
棚谷直巳(三口)・梅崎浩二・
荒木拓美・上田圭子・後宮昭
三枝子・近藤孝子(三口)・
小柳玲子(五口)・加治木政
子(二口)・川守田陽(二口)
・木本雅子(二口)・川上信
(二口)・川島秀行(三口)・黒多健
君村千代子(三口)・黒多健
伸枝・みどりの保育園園長・
龜田正巳・倉橋剛・近藤和江
神谷幸子・小西望・小柳伸頭
小林清太郎・島崎富子(二口)
・柴田作治郎・杉の子保育園
園長・祐村明・塩谷いく子・
作野叡子・下岡一夫・坂口進
政一・北岡なみ子・北岡一道
・嶋崎瑞恵・木村はる江・加藤
俊明・嶋崎達也・田中芳三
(二口)・田中工務店・田中慶
明・田中春枝(二口)・谷口
あさ子・富増献児・田村早千
枝・津野フアミリ・滝口宣
田中静江・出島京子・永島正
人・中西加代子(二口)・鳴
滝養護学校・永井良和・中島
成和(二口)・中井宏幸(二
口)・中村敏一(二口)・向
島五街区・西林・西口誠・中
島明子・西八條敬洪・成田信
義・由起・二ノ丸北学区自治
会連合会文化部長・大福直人
成瀬正代・中西静子・中西昌
哉・内藤仙太郎・弘子・広瀬
悦子(三口)・林川忠男・静
江・朴実(二口)・原田恵美
平田哲・真貴子(二口)・府
上征三・平竹潤・林栄子・藤
木隆美・引原勝美・森弘・雄
子(二口)・宮本真希子(二
口)・松井知恵(二口)・恵七口
子(二口)・名木純子(二口)
溝口智之(二口)・松田央・
前川直美(二口)・真砂良克
前島宗甫・森孝一・松野清美、
- 正信・三谷昭子・恵丈一郎・
家形日出(二口)・吉田雅美・
安野喜仁・優美(二口)・山
下晶子・山本和子・吉岡恵子
若林裕
大山医院・馬美努持保育園
愛之園保育園・エスク・大阪
東十三教会・一麦保育園・大
津教会・近江兄弟社学園・宇
治教会・大阪四貫島教会・市
川三本松教会・京都グリーン
レオクラブ(二口)・賀川記
念館(二口)・京都YMCA
福祉ボランティアクラブ・倉
敷教会・京都復興教会・各務
原教会・河内松原教会・鎌ヶ
谷教会・鎌倉恩寵教会・甲子
町教会・世光教会・京都丸太
学園・島松伝道所・千歳栄光
学園・千歳第二幼稚園・同志
社女子高等学校・田園江田幼
稚園・土佐教会・田中工務店
久が原教会・ふうせん文庫・
ホーム・フジの園・福崎教会婦
人会・向島手話サークル・野
の花(二口)・向島あそぼう
会・翠ヶ丘教会・松戸教会・
紫野教会教会学校・八幡ぶど
うの木教会(二口)・友愛幼
児園(二口)・洛陽教会・同
志社高等学校・錦林教会・野
の百合幼児園
無記名献金五口
(二一〇口)

六、八四五、一〇四